

雇用導入管理マニュアル及び経営支援ソフトの策定

1. 試験のねらい

農業経営が効率的かつ安定的な経営体として発展するためには、経営規模の拡大と併せて雇用労働力の導入が必要となる。そこで、雇用を導入する事例調査をもとに雇用型家族農業経営の課題を整理し、支援方策を作成する。

2. 試験方法

家族経営に雇用を導入する「雇用型家族農業経営」3戸について、聞き取り調査及び農業経営記録簿の分析を行い、経営管理の特徴と課題を生産管理・労務管理・財務管理の3つの観点から整理した。この調査結果を踏まえて、家族経営に雇用を導入する場合の対応策をまとめた。

3. 試験結果および考察

(1) 調査農家3戸とも販売を意識している点は共通でありながら、それぞれが抱える流通・販売の条件によって生産管理が異なる。販売戦略に合わせた生産を行うことが生産管理の課題となる。

雇用労働力の労務管理においては、協調性のある者が雇用すべき労働者であると考えられることができる。しかし、雇用の導入方法は経営者が考えるメリットやデメリットの違いによって異なり、どの方法が適するとは言えなかった。一方、家族労働力への負担軽減を図る方法として、雇用作業の拡大、作業の機械化、役割分担の高度化、作業のアウトソーシング、社員の増加の5点が労務管理の課題として挙げられた。

財務管理については、財務会計の視点ではなく管理会計の視点で行うことが重要であり、経営者独自の判断基準を見いだすことが必要である。調査農家では、主に売上目標を設定して収益性や安定性の判断基準としていた。

(2) 調査結果をもとに、これから雇用を導入しようとする経営者のために、表-1に示す22項目からなる「雇用導入管理マニュアル」を策定した(図-1)。なお、雇用導入を指導する者にも参考となるよう、制度面についても補足した。また、雇用の給与管理作業を支援するため、タイムカードを利用して給与計算ができる「農家のかんたん給与計算」ソフトを作成した(図-2)。

4. 成果の要約

家族経営において雇用を導入する場合に活用できる「雇用導入管理マニュアル」を策定した。また、雇用の給与管理作業を支援するために「農家のかんたん給与計算」を作成した。

(担当者 作物経営部 経営管理研究室 阿久津政行*) *現 河内農業振興事務所

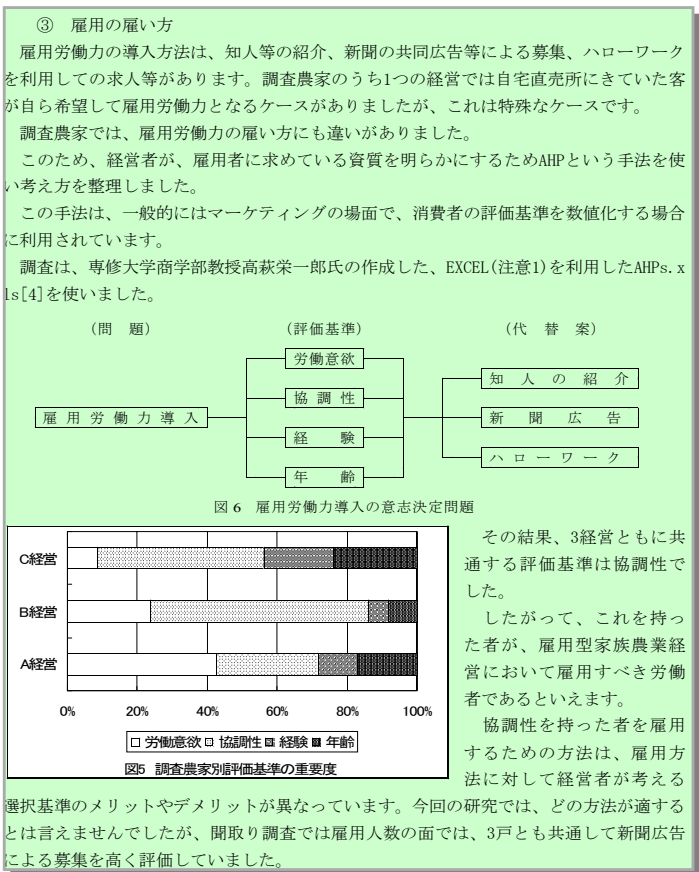


表-1 雇用導入管理マニュアルの項目

- (1) 雇用型家族農業経営とは
 - 【雇用】
 - (2) 雇用導入の動向
 - (3) 雇用の雇い方
 - (4) 雇用労働力の年齢及び就業年数
 - (5) 就業時間、休憩及び休日の設定
 - (6) 労働基準法の適用除外
 - (7) 休暇の取り方
 - (8) 給与の決め方・諸手当
 - (9) 賞与
 - (10) 雇用保険・労災保険
 - (11) 雇用の教育
 - (12) 作業の指示・注意
 - (13) 人間関係・福利厚生
 - (14) 栽培技術
 - (15) 作業の効率化
 - (16) 作業の分担
 - (17) 作業の軽労化
 - 【家族】
 - (18) 役割分担
 - (19) 作業の効率化・軽労化
 - (20) 後継者の就農
 - (21) 就業条件
 - (22) 教育

図-1 「雇用導入管理マニュアル」抜粋



ここから、雇用労働力個人別の労働条件設定と毎月の入力を始めます。

- ① 農家の住所及び名前を記入します。
- ② 西暦を記入します。
- ③ 雇用労働者の氏名を入力します。
- ④ 雇用条件の設定にジャンプします。
 - 設定する雇用条件は次のとおりです。
 - 作業時間、休憩時間(午前1回、昼、午後1回)、給与(時間当たり)、給与の算出単位(何分単位で給与を支払うか)、特別給、通勤手当、賞与
- ⑤ 毎月の給与計算画面にジャンプします。
- ⑥ 賞与の印刷画面にジャンプします。
- ⑦ これまでに支払った給与の集計表にジャンプします。
- ⑧ ファイルを上書き保存します。
- ⑨ もし、メニューが出ていない場合は、「Menu」を押してください。

図-2 「農家のかんたん給与計算」メニュー画面